

活動指針 家畜・産業動物

本年 7 月 26 日に農林水産省より、家畜のアニマルウェルフェアに関する新たな飼養管理指針が発出され、都道府県や畜産団体等の関係者への周知が進んでいます。

[アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

一方で、現在の日本における家畜・産業動物への動物福祉レベルは低く、具体的な活動はこれからといえます。例えば、欧米諸国ではケージフリー（平飼い）の卵の方が売れますが、日本では安い卵の重要が高く、消費者への啓蒙・教育も大きな課題です。当財団では、家畜・産業動物の動物福祉の向上に積極的に取り組む活動を支援することで、持続可能な畜産業を実現したいと考えています。

助成対象例

- 養鶏のバタリーケージの廃止
- すべての家畜の飼育環境の向上
- 生産現場の飼養管理、福祉の向上
- 良質・安全な食品の確保
- 消費者への啓蒙、教育
- その他、家畜の動物福祉向上のための活動

上記以外の活動についても助成対象となる可能性がありますので、お気軽にお問い合わせください。